

(一社)日本埋立浚渫協会

## 「埋立地の地盤改良に関するWG」の成果について

### 1. 背景

当協会では、本年発生した、東京国際空港の液状化対策工事等における施工不良、データの改ざん、虚偽報告等に対処し、技術の信頼性を確保する観点から、地震対策上重要な埋立地の地盤改良に関し、当協会の技術委員会（委員長：野口 哲史 五洋建設(株)土木本部長）において標記WGを設立し、「確実な施工と品質確保」を実現するための施工・品質管理の指針を取りまとめました。

### 2. 検討経緯

当協会の主要会社の技術部門を統括する技術陣により構成される技術委員会内に「埋立地の地盤改良に関するWG」を設立し、本年6月より検討を行いました。

WG 座長：五洋建設（株） 技術研究所 副所長 林 健太郎

副 座 長：東洋建設（株） 土木事業本部 土木技術部長 小倉 勝利

メンバー：五洋建設（株） 土木本部土木設計部 グループ長 山本 敦

（株）不動テトラ 地盤事業本部 副本部長 大林 淳

みらい建設工業（株）技術開発室長 足立 雅樹

実施にあたり港湾空港技術研究所山崎浩之特別研究主幹、東京都市大学都市

工学科末政直晃教授の指導・助言を頂きました。

### 3. 主たる結論

施設直下の液状化対策工法は、適切に計画し施工すれば確実に出来形・品質を確保できる技術である。一方でその性能確認が難しく、施工不良が顕在化しにくい一面があるため、施工過程で適用すべき不正防止策を、以下の「自主管理ルール」として提言する。

- ・ 確実な施工と品質確保のために、標準マニュアルに示されていない施工のポイントをとりまとめ、施工時のチェックシートを作成した。それに基づき、①技術講習会の開催、②チェックシートの使用義務付け、③技術指導員の派遣等を提言する。
- ・ さらに不正防止を徹底するため、①注入データの改ざん防止記録紙または改ざん防止措置を講じること、②施工前機器キャリブレーションの立会、③採取試料の差替え防止と第3者による事後調査等の方策を提言する。
- ・ 技術指導はそれぞれの工法研究会が担い、これらの指導結果を定期的に協会が集約して、確実な施工と品質確保が行われるようフォローアップすることを提言する。

### 4. 今後のスケジュール

国土交通省の調査委員会の中間報告等も踏まえ、最終報告書を取りまとめる予定でいます。